



「一緒に」楽しめる、楽しさの先に

元気なお母さん 須本清美さん

「体験」がくれるもの

辻堂周辺で活動する須本清美さん。須本さんの活動は幅広く「マルキヨ石けん」と呼ばれる、ご自身の手作り石けんに始まり、点字版や点字用紙のアップサイクル、さまざまなワークショップの開催、「楽しい」という体験を多くの方に届けています。手作りの時間がくれる魅力は、作っているあいだ、普段の生活から離れて集中できること。そして、「作る」という楽しみだけでなく、手作りを通して「出会い」が生まれるとも伺いました。親子で体験できる楽しいワークショップを展開する「湘南辻堂Onhand」では、子どもたちも楽しそうに一生懸命、作品をつくり、親子での触れ合いが増え、笑顔が増えるといえます。体験を通して、一緒に過ごした楽しい時間が増えることで、親子のあいだに新しいものが生まれる…「体験をとともにする価値を話してくれました。」

母としての想い

須本さんが活動の幅を広げてきた背景には、息子さんの存在があります。先輩ママから「親子で楽しむ時間はあつという間だよ」と言われ、ひとつの節目を「小学校を卒業するまで」とし、さまざまな活動を息子さんと体験にするよう心掛けてきました。その節目の年が今年でした。ご自身の経験としても、息子さんと手づくりを一緒にしたり、NPO法人HongKong Universityさんとの出会いから、ユニバーサルカヌーを始めた、ビーチクリーンや畑など、身体を動かして楽しめるものを親子でたくさん実施してきました。「楽しい」をともにする、家に帰ったあとも「また親子で楽しめる」、楽しさの先に、広がるものがあるのです。

「違い」を超えるもの

親子で体験を増やしたひとつの理由は、息子さんが3歳くらいの頃、街中で起きたある出来事。それは、障がいのある方に対して「なんで、あの人は大人なのに…？」と、大きな声で息子さんから聞かれたそう。母として何と答えていいかわからず固まってしまったと伺いました。地域には、障がいのある方に限らず、いろいろな方が住んでいる…そのことを、地域の活動に参加することで、自然と知ってもらえたらと考えたのです。手伝いをしてきた、ユニバーサルカヌーの体験会では、運営側にも参加者側にも、年配の方や障がいのある方、いろいろな方がいます。その中で、違いがあっても活動を通して「一緒に楽しめる」、自然と仲間になれることを、親子ともに体感したそうです。

自然と…

須本さんが大切にする「自然」という言葉。取材の中で、「普通」というか「自然」なんですよね」と言い換えられた瞬間がありました。違いがあることも普通だから仲良くなれる、そう伝えたいのではなく、違いを感じることもなく、体験の中で、自然と関わりが生まれ、一緒に喜び、一緒に楽しいを重ねていく…自然にそうなっていくという柔らかな流れを伝えてくださったのだと思いました。

▼詳しくは、サイト内の記事へ。

「一緒に「楽しい」を体験することで自然が生まれる（元気なお母さん 須本清美さん）
[No.018] / <https://shogai-ana.com/interview018/>



就職がゴールではない 「自分自身」という土台づくりから 始める就労支援



鎌倉市大船にある、NPO法人地域生活サポートまいんど 就労サポートセンター「ねくすと」所長の八木苑子さんにお話を伺いました。「ねくすと」では、就労移行支援として、一般企業で働きたいと考える障がいのある方の就労をサポートしています。障がいのある方が一般企業に就職するとすると、どのような仕事を担当してもらったらいいかと、仕事内容に目が行きがちですが、本当に大切なことは「その方自身が、仕事の土台となる生活を整えることができるか」「職場では、人間関係を含む、人の中で働くということを継続できるか」という点だといいます。「ねくすと」が大切にしていることは「自分自身を知ること」。仕事の能力だけでなく、生活を自分で整える、自分自身を自分で整えるという『土台』づくりもおこなっています。

▶詳しくは、サイト内の記事へ。

『つなぐことで支えたい「人の中で働く」(就労サポートセンターねくすと所長 八木苑子さん) [No.017] / <https://shogai-ana.com/interview017/>



就労移行支援とは？

就労移行支援とは、企業などへの就職を目指す障がいのある方を対象に、就職に必要な知識やスキル向上のためのサポートをおこなう。通所する方は、平日の昼間に事業所（施設）へ行き、さまざまなプログラムなどに参加している。

インタビュー記事はいかがでしょう？
感想をお寄せください

昨年10月から始まった、藤沢市の「ミライカナエル活動サポート事業」。採択していただいたことで、補助金をいただき、コロナ禍でもオンラインで取材活動が実施できるようになりました。その事業も、5月末で終了します。皆さんには、今回、実施できた『インタビュー記事』について、ご感想をいただきたいと思います。詳しくはLINE公式アカウントやSNSでお伝えします！

活動を支える

ご支援・ご寄付 をお願いします

障がいのアナのサポーター
を大募集しています！

私たちの活動を、いつも応援くださり、ありがとうございます。

webメディア「障がいのアナ」は藤沢市を中心に「福祉」「障がい」の情報を発信し、社会の壁にアナを開けることを目標に活動しています。

今後は、イベントやワークショップの開催、交流会なども企画しています。皆さんのご支援・ご寄付を大切に、今後も活動してまいります！

ご支援・ご寄付の例

- 500円からの寄付で応援 ●マンスリー寄付で応援
- SNSで拡散 ●会話の話題にする
- チラシ・カードを置く など

＼ご寄付はこちらから！／



取材させてください！取材先大募集！！

市内の活動、市内の福祉の活動が集約されるサイトを作成していきます。「藤沢」「障がい」「福祉」と聞いて、少しでも心が動いたあなた！ご連絡をお待ちしています。



当面の間は基本的にオンラインまたは電話での取材になります。

障がいのアナ サイト内の
「お問い合わせ / 取材依頼」より
ご連絡ください

インタビュー内容をメールで送付します

電話やZOOMにて詳細をお伺いします

記事を作成し完成後、ご連絡します

公式LINEアカウント

最新情報をいち早くお届けします
ぜひご登録ください♪

友だち追加は
こちらからどうぞ！



@shogai_ana

AnaLetter

障がいのアナニュースレター Vol.6

2021年3月発行

発行：市民活動団体 障がいのアナ
mail: info@shogai-ana.com

障がいのアナ



<https://shogai-ana.com>



Facebook @shogai.ana
Instagram @shogai_ana
LINE @shogai_ana